

施策評価シート（平成30年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	3-5	政策名	芸術文化の振興	政策の 目指す姿	地域の歴史や文化、先人に誇りを持ち、芸術文化に親しんでいます	施策 主管課	生涯学習課	施策主管 課長名	藤原 睦
	施策No.	1	施策名	芸術文化活動の 推進	施策の 目指す姿	身近な場所で芸術文化に触れ、芸術文化活動を行っています	関係課名			
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 優れた芸術文化事業に触れる機会や、芸術文化活動についての情報が不足しているとの意見があります。 芸術活動への参加者が高齢化しているため、後継者不足が課題となっています。 芸術文化の拠点である文化会館が老朽化しています。 美術作品等を保管する場所が分散・老朽化しています。 								

◎ 前年度の評価の振り返り

（前年度評価時の今後の方向性）

- アンケートの分析結果を反映させた講座を企画する。
- 広報はなまき以外に、ホームページ、SNSやFMはなまき等PR方法を増やす

（反映状況）

- アンケートの分析を踏まえて企画を行い、運営審議会等で審議した結果、入館者が増えた事業があった。（例：萬鉄五郎記念美術館「写真展『岩合光昭の世界ネコ歩き』」、「一北の磁場に導かれてー照井榮展」等）
- 市民芸術祭文芸大会の参加者数のうち小学校児童・中学校生徒の参加者延数が前年度234人に対し794人と560人増加した。これは、従前の依頼に加え、文芸大会の会場となった大迫の大迫町芸術文化協会が大迫地域内の小中学校へ積極的にPR活動を行った結果であり、将来の潜在的な文芸愛好家の増加につながると、花巻市民芸術祭実行委員会総会で総括された。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

- (1) 芸術文化に触れる機会の提供
- 優れた作品の鑑賞機会の提供
 - ・ 芸術文化推進事業（文化会館主催事業）、萬鉄五郎記念美術館企画展示事業
 - 芸術文化施設の整備の検討
 - ・ 公共施設マネジメント計画に鑑み、所管する芸術文化施設の整備を検討
 - 美術作品等保管場所の整備の検討
 - ・ 保管場所について検討
- (2) 芸術文化活動の支援
- 芸術活動の発表の場の提供
 - ・ 市民芸術祭の実施
 - 市民の芸術文化活動の支援
 - ・ 文化団体補助

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
市民芸術祭参加者数・入場者数	市民が、どの程度身近な場所で芸術文化に触れたり、活動を行っているのか、その状況を示す指標	出典：生涯学習課 市民芸術祭の会場ごとの参加者数と入場者数の実数を把握する。	人	目標値	14,000	14,000	15,000	12,000	12,000	12,000
				実績値	12,100	11,112	12,286	14,591	13,736	
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<p>■ 成果指標「市民芸術祭参加者数・入場者数」・・・【達成度a】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実績値は前年度に比べ、855人減少したが、目標値は上回った。 ・ 前年度の評価の振り返りでも触れているように、花巻市民芸術祭文芸大会における小学生児童・中学生生徒の応募者数が、前年度に比べ560人増えた要因は、会場となった大迫の大迫町芸術文化協会をはじめ、花巻市民芸術祭実行委員会構成団体の積極的なPR活動の賜物であると思われる。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度		成果
	事業内容(活動実績)		対象 直結度	意図 直結度	
1	芸術文化推進事業	生涯学習課	一致	直結	B
	小学生アートセミナーの開催(夏季休暇中:136人、冬季休暇中:86人)、はなまきまるごと芸術のまち(市所蔵美術品の貸し出し)				
2	芸術文化推進事業	文化会館	一致	直結	A
	文化会館主催事業を開催(21回)				
3	芸術文化促進支援事業	生涯学習課	一致	直結	B
	市民芸術祭の開催(32件)、文化団体等の支援				
4	萬鉄五郎記念美術館企画展示事業	萬鉄五郎記念美術館	一致	直結	A
	企画展覧会と関連事業の開催(企画展覧会5回)				
5	美術普及活動推進事業	萬鉄五郎記念美術館	一致	直結	B
	萬鉄五郎祭関連事業として、児童等写生会や美術研修会を開催				

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)</p> <p>・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <p>・芸術文化推進事業のうち、はなまきまるごと芸術のまち事業は、市所蔵美術品のデータベースを整理し、周知徹底する必要がある。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <p>・なし</p>
--

6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <p>・はなまきまるごと芸術のまち事業は事業内容を検証するとともに、周知方法を検討する必要がある。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>・はなまきまるごと芸術のまち事業は、市所蔵美術品のデータベースを整理して、作品毎の所縁を把握するとともに、作品を企業等に貸し出した際の、借用した企業等の効用効果を吟味する。その上で本事業を再構築する。</p>
--